

内科学：循環器疾患

40-082 血友病に関して誤っているのはどれか。

- 1. 遺伝性疾患である。 *伴生遺伝性遺伝子あり。*
- 2. 男子に発病する。 *ほとんど男児に発症する。*
- 3. 出血の初発は新生児期が多い。 *産後や遠い遠い過去に発症する時期からが多い。*
- 4. 出血時間は正常である。 *血小板は正常である。(体と衣や物にぶつかることで増えるため)*
- 5. 関節内の出血が痛みを引き起こす。 **月経出血により起こり得ることもある。*

43-073 末梢循環障害と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

- 1. Buerger(バージャー)病—喫煙 ... *動脈硬化とは関係ない。*
- 2. 解離性大動脈瘤—アテローム硬化
- 3. 下腿静脈瘤—妊娠
- 4. 血栓性静脈炎—長期臥床
- 5. 結節性多発動脈炎—糖尿病 *原因不明*

44-053 疾患と塞栓源との組合せで正しいのはどれか。

- 1. エコノミー症候群—心内血栓 *下肢の深部動脈で作られた血栓 → 肺塞栓*
- 2. 脳塞栓症—内頸動脈血栓
- 3. 潜函病—脂肪塞栓 *空気塞栓(海底で圧縮された空気が浮き上がる時に気泡化する。)*
- 4. 肺塞栓—空気塞栓 *血栓や脂肪による塞栓*
- 5. 腎梗塞—静脈血栓 *心臓や大動脈でできた血栓 = 動脈血栓 → 脳や腎臓で塞栓
動脈 } 下肢の静脈でできた血栓 = 静脈血栓 → 肺で塞栓*

44-073 下肢の深部静脈血栓症で誤っているのはどれか。

- 1. 安静臥床の期間と密接な関係がある。
- 2. 足指が暗赤色に腫脹する。 *静脈傾倒でできる血栓なので、足指で塞栓をおこすことはない。*
- 3. 血液凝固能は亢進している。 *血液粘度が上昇し、血液量が減ると血液凝固能が亢進する。*
- 4. 肺塞栓症を生じる。
- 5. 誘引として避妊用ピルがある。

45-A-76 閉塞性動脈硬化症で正しいのはどれか 2つ選べ。

- 1. 男性よりも女性に多い。 *に多い。動脈硬化による疾患(虚血性心疾患、脳血栓など)は男性に多い。*
- 2. 20~30歳代に多い。 *中年以降*
- 3. 低血圧の合併が多い。 *高血圧*
- 4. 間欠性跛行がみられる。 *下肢の血流が悪いため、しばらく歩くと動脈はくくなるが、少し休むとまた歩けるという間欠性跛行がみられる。*
- 5. 主に四肢の近位側の動脈が侵される。 *特に下肢*

46-A-075 アテローム(粥状)硬化と関係するのはどれか。

- 1. Buerger病 *原因は明らかでないが喫煙男性に多い。動脈硬化とは関係ない。*
- 2. 肥大型心筋症 *原因は不明。心筋が厚くなり、内腔が狭くなるため駆出量が減少する。*
- 3. 悪性腎硬化症 *良性腎硬化症は、アテローム硬化と関係する。悪性腎硬化症は、比較的若年層で、最低血圧が130mmHg以上の状態が続くと急速に腎硬化が*
- 4. 僧帽弁狭窄症 *リウマチ熱などが原因となる。*
- 5. 腹部大動脈瘤 *大動脈瘤の原因はアテローム硬化によるものがほとんど。進行、重篤な状態を引き起こす。*

46-A-078 血圧降下薬としての作用機序で適切なのはどれか。

- 1. 利尿 *循環血液量が増加すると血圧が上昇するため、利尿によって血液量が減ると血圧が下がる。*
 - 2. 心拍数増加
 - 3. 心拍出量増大
 - 4. 血管平滑筋収縮
 - 5. ナトリウム貯留
- } 血圧を上げる要因となる。

47-A-088 深部静脈血栓症の予防法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- ① 弾性ストッキングの着用 *筋のポンプ作用を補助し、血液を流しやすくする。*
- ② 足関節の自動運動 *筋のポンプ作用*
- ③ 水分摂取の制限 *水分摂取を制限すると血漿量が減り、血液粘度が上昇するため血栓ができてしまう。*
- ④ ギプス固定 *固定して動かさないと、血液が滞り、血栓ができてしまう。ギプス固定している所以外の*
- ⑤ 冷却 *冷却することにより血液の流れが悪くなる。血管が収縮し、
足指の自動運動やギプス固定している部位の等尺性運動を行う*

48-A-092 運動中に突然死するリスクが高い病態はどれか。

- 1. 肺動脈弁閉鎖不全症
 - ② 心房中隔欠損症
 - ③ 大動脈弁狭窄症 *大動脈弁の狭窄により、運動に見合う血液を心臓から送り出すことができないため、突然死のリスクが非常に高い。*
 - 4. 慢性心膜炎
 - 5. 肺線維症
- その他の(突然死の原因疾患)急性心筋梗塞、不安定狭心症、拡張型心筋症、肥大型心筋症、僧帽弁閉鎖不全、大動脈弁閉鎖不全など。*

48-P-075 深部静脈血栓症を起こしやすいのはどれか。

- ① 人工膝関節置換術後 *術後、下肢を動かさないと血栓を起こしやすい。*
- 2. 橈骨遠位端骨折
- 3. 心房細動
- 4. 血友病
- 5. 高血圧

48-P-091 脈管疾患と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

- 1. Buerger 病——喫煙
- 2. 下腿静脈瘤——妊娠
- 3. 解離性大動脈瘤——アテローム硬化
- 4. 深部静脈血栓症——長期臥床
- ⑤ 結節性多発動脈炎——溶連菌感染症 *原因不明*

49-P-075 アテローム(粥状)硬化が関与する病態はどれか。

- 1. 慢性収縮性心膜炎
- 2. 慢性閉塞性肺疾患
- ③ 内頸動脈狭窄症 *大動脈や内頸動脈、椎骨動脈などは、アテローム硬化により内腔が狭くなる。*
- 4. 椎骨動脈解離
- 5. 肝硬変 *動脈硬化と関係はない。比較若年者のスモーカーには多い。
C型肝炎→慢性肝炎→肝硬変→肝臓と進行するものが多い。*

Buerger 病

原因不明だが喫煙と関係している。
 青年(30代~40代)の男性に多い。
 四肢の末梢血管の閉塞し、血行↓
 四肢の切断の原因にもなる。

下肢静脈瘤

静脈の弁が壊れて血液が逆流するため、
 血管がボコボコと膨らみ出て見える。
 女性に多い。妊婦、立ち仕事。